

本のひろば



今年の夏は暑さが厳しく長かったぶん、秋の訪れが本当に待ち遠しかったですよね。秋の虫たちも、ずっと待っていた本番を迎えたかのように夕方になると美しい鳴き声で私たちを楽しませてくれています。最初は種類の鳴き声も、気がつけば様々な虫の鳴き声が変わり、まるでオーケストラの演奏する音楽のように華やかです。もちろん一匹の鳴き声も可憐でステキですが、重なった鳴き声は時に力強く、決して一匹では作り出すことの出来ないハーモニーとなります。それは、きっとダンスや団体で行うスポーツにおいても同じですね。10月には、体育大会があります。一人一人の頑張りがかかることでチームとして素晴らしい結果や、達成感がえられることを期待しています。

小学生がえらぶ！こどもの本総選挙 ～長三小オリジナルランキング～ 発表！！

1位



作/鈴木のりたけ
小学館

2位



作/柴田ケイコ
KADOKAWA

3位



作/廣島玲子
偕成社



9月1日から行っていた投票は30日で終わり、長三小オリジナルランキングが決定しました。全国版で1位だったのは「りんごかもしれない」(作/ヨシタケシンスケ プロンズ新社)でしたが、長三小版ではダントツで「大ピンチずかん」でした。この期間、みなさんが自由読書の時間を使って、今まさに旬の本を楽しみながら読む姿がとっても印象的でした。

今月のテーマは「みんなで力を合わせよう！！」



作/ハンス・フィッシャー
福音館書店

「プレーメンのおんがくたい」

ロバ、イヌ、ネコ、オンドリはプレーメンにある音楽隊に入るために旅に出た。途中で見つけたのは泥棒の小屋。小屋にはご馳走が一杯。お腹の空いている4匹はご馳走を頂くために力を合わせて泥棒を小屋から追い出すことを思いついた。さーどうやって?!



作/いとうみく アリス館

転校をきっかけに参加することになった30人31脚。けれどメンバーの気持ちはなかなかまとまらない。ラストは「50メートル向こうで、ぜってー笑おう」その言葉がみんなの気持ちをひとつにしてゴールへと向かう。一人では決して成し遂げられないことも一緒に頑張ってくれる仲間がいるから踏み出せるよね。

あたらしい本のしょうかい



「ネコはとってもいそがしい」



作/吉野万理子 くもん出版

「ネコは、ねるのがしごと」って人間は言ってくれるけど、じつはとっても忙しいのだ。ター君ちのネコ チャオは家族が寝た後はネコビームを出して仲間と通信をする。ター君がちゃんと眠れているか確認もする。おやっ！ター君が夢の中で苦しんでいる助けに行かないと！さー、チャオの忙しい夜がはじまります。



「たった2°Cで・・・」。

みなさんは気温が2度変わる…と聞くと「たった2°C」それとも「2°Cも！」感想はどちらですか？この本では「魚にとって2°Cは人間が感じる20°Cぐらいの大きなちがいだ。」とあります。読んだ後、温暖化に向けて自分の出来ることを探したくなります。

他にも人気のシリーズなども入りました！！

- ・インサイドヘッド 作/テニー・ネルソン 小学館ジュニア文庫
- ・だいとかいのおばけずかん 作/斉藤洋 講談社 他のシリーズ
- ・ナツカのおばけ事件簿フラワーショップの亡霊 作/斉藤洋 あかね書房





